

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月10日
【四半期会計期間】	第12期第3四半期（自平成25年10月1日 至平成25年12月31日）
【会社名】	エンカレッジ・テクノロジー株式会社
【英訳名】	Encourage Technologies Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 石井 進也
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋浜町3-3-2
【電話番号】	03(5623)2622 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 川島 久男
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋浜町3-3-2
【電話番号】	03(5623)2622 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役経営管理部長 川島 久男
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第12期 第3四半期累計期間	第11期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年12月31日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高(千円)	849,639	915,401
経常利益(千円)	252,948	309,222
四半期(当期)純利益(千円)	162,822	191,116
持分法を適用した場合の投資利益 (千円)	-	-
資本金(千円)	412,614	132,250
発行済株式総数(株)	3,190,000	2,675
純資産額(千円)	1,706,866	1,012,740
総資産額(千円)	2,105,126	1,358,682
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	57.55	75.06
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	53.40	-
1株当たり配当額(円)	-	11,000
自己資本比率(%)	81.1	74.5

回次	第12期 第3四半期会計期間
会計期間	自平成25年10月1日 至平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	12.61

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。
4. 第11期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、第11期事業年度末において当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので記載しておりません。
5. 当社は、平成25年12月11日に東京証券取引所マザーズに上場したため、第12期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から第12期第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。
6. 当社は、平成25年9月15日付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を行っておりますが、当該株式分割が前事業年度期首に行なわれたと仮定して、1株当たり四半期(当期)純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
7. 当社は、第11期第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、第11期第3四半期累計期間に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、関係会社はなく、その状況に変更はありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、平成25年11月8日提出の有価証券届出書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。なお、当社は前第3四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っていません。

#### (1) 業績の状況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業業績が改善し設備投資も上向きに転じていることなどから、緩やかな景気回復の動きがみられました。一方、新興国経済の減速による海外景気の下振れから輸出が伸び悩み景気を下押しするリスクとなっているほか、消費税率引上げに伴う駆け込み需要及びその反動による生産や消費への影響が懸念されます。

当社の属する情報システム分野においては、当社の主要顧客先である金融機関の平成25年ソフトウェア投資計画（日銀短観12月調査）は、メガバンクにおけるシステム統合の本格化などを受けて「銀行業」が前回9月調査比修正率で1.4%とさらに上方修正されるなど環境は改善されております。

このような状況のもと、当社の製品開発面では、本人確認ソリューション「ID Inspector (IDI)」（注）に従来のフェリカカードに加えてWindows標準のスマートカードインターフェース(PC/SC)を新たに採用した「IDI V1.4」、クライアント・セキュリティ管理ソリューション「SEER INNER V3.7」、統合システム監視製品「Encourage Super Station (ESS) Ver.2.10.2」をリリースしたほか、主力製品の「ESS REC」及び「Remote Access Auditor (RAA)」の新オプションとして、より精度の高いコマンド監査を可能にした「Unix/Linux Terminal Option」をリリースし発売しました。引き続き製品開発戦略である「ESS SmartIT Operation (SIO)」に基づいた「ESS REC」及びSIO製品間の連携強化に向けた開発を推進いたしました。営業施策面では、クラウド事業者やデータセンター事業者の基盤統制強化に向けた営業活動を強化するとともに、第2四半期会計期間の日本金融新聞社主催の金融ITフェア「FIT2013東京、大阪」に加えて当第3四半期会計期間においては仙台、東京にて金融機関への導入事例を交えたセミナー講演を行うなど「ESS SmartIT Operation(SIO)」製品の新規顧客はもろろん、既存顧客へのクロスセルを積極的に進めました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における業績は、売上高は849,639千円となりました。

主な内訳は、ライセンス売上が323,718千円、保守サポートサービス売上が376,521千円となりました。費用につきましては売上原価が209,025千円、販売費及び一般管理費が373,628千円となり、概ね計画どおりに推移し、営業利益は266,985千円、営業外費用では平成25年12月11日の株式公開に伴う上場関連費用17,948千円が発生したため、経常利益は252,948千円、四半期純利益は162,822千円となりました。

(注) ID Inspector (IDI) とは、同一アカウントを複数の社員が共有して利用する環境で、誰が、いつそのアカウントを使用したのかを確認し、記録を残すことができるパッケージソフトウェアです。

#### (2) 財政状態の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は、前事業年度末に比べ758,976千円増加し、1,901,557千円(前事業年度末比66.4%増)となりました。これは主に、新規上場による公募増資資金及び保守サポートサービスの前受金の増加による現金及び預金の増加770,879千円、売掛金の減少11,932千円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ12,531千円減少し、203,568千円(前事業年度末比5.8%減)となりました。これは主に、有形固定資産の減少13,135千円、無形固定資産の減少5,280千円によるものであります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて746,444千円増加し、2,105,126千円となりました。

(負債)

負債は、前事業年度末に比べ52,318千円増加し、398,260千円(前事業年度末比15.1%増)となりました。これは主に、前受金の増加89,284千円によるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ694,125千円増加し、1,706,866千円(前事業年度末比68.5%増)となりました。これは主に、新規上場による公募増資による新株発行等により資本金が280,364千円、資本剰余金が280,364千円増加したこと、また、四半期純利益の計上等に伴い利益剰余金の額が133,397千円増加したことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期累計期間における研究開発活動は、S10製品の統合に向けた開発とクラウド化対応製品及びクラウドを利用した新事業のソフトウェア開発に注力しており、研究開発費用は62,220千円になりました。

なお当第3四半期累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,000,000
計	10,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,190,000	3,287,100	東京証券取引所 (マザーズ)	完全議決権株式であり、株主としての権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。
計	3,190,000	3,287,100	-	-

(注) 1. 当社株式は平成25年12月11日付で東京証券取引所マザーズ市場に上場しております。

2. 平成25年12月10日を払込期日とする一般募集により、発行済株式総数が330,000株増加しております。

3. 平成26年1月7日を払込期日とする有償第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)により、発行済株式総数が97,100株増加しております。

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

## (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年12月11日(注)1	330,000	3,190,000	262,614	412,614	262,614	394,614

## (注) 1. 有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)

発行価格 1,730円

発行価額 1,591.60円

資本組入額 795.80円

払込金総額 262,614千円

2. 平成26年1月7日を払込期日とする有償第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)により、発行済株式総数が97,100株、資本金及び資本準備金がそれぞれ77,272千円増加しております。

## (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

## (7) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	-	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 2,860,000	28,600	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。
単元未満株式	-	-	-
発行済株式総数	2,860,000	-	-
総株主の議決権	-	28,600	-

(注) 平成25年12月11日付で行った一般募集による増資により、当第3四半期会計期間末における発行済株式総数は330,000株増加し、3,190,000株となっております。

## 【自己株式等】

該当事項はありません。

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

### 4．最初に提出する四半期報告書の記載上の特例

当四半期報告書は「企業内容等開示ガイドラインの24の4の7-6」の規定に準じて前年同四半期との対比は行っておりません。



## 1【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,020,661	1,791,540
売掛金	102,012	90,080
その他	19,907	19,937
流動資産合計	1,142,581	1,901,557
固定資産		
有形固定資産	60,908	47,772
無形固定資産	83,296	78,015
投資その他の資産	71,896	77,780
固定資産合計	216,100	203,568
資産合計	1,358,682	2,105,126
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,654	8,123
未払法人税等	72,535	40,615
前受金	184,080	273,364
その他	57,364	50,811
流動負債合計	320,634	372,915
固定負債		
資産除去債務	25,307	25,344
固定負債合計	25,307	25,344
負債合計	345,941	398,260
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	132,250	412,614
資本剰余金	114,250	394,614
利益剰余金	766,240	899,638
株主資本合計	1,012,740	1,706,866
純資産合計	1,012,740	1,706,866
負債純資産合計	1,358,682	2,105,126

( 2 ) 【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

( 単位：千円 )

	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	849,639
売上原価	209,025
売上総利益	640,613
販売費及び一般管理費	373,628
営業利益	266,985
営業外収益	
受取利息	235
助成金収入	3,656
雑収入	25
営業外収益合計	3,916
営業外費用	
株式公開費用	17,948
雑損失	5
営業外費用合計	17,954
経常利益	252,948
税引前四半期純利益	252,948
法人税、住民税及び事業税	93,872
法人税等調整額	3,746
法人税等合計	90,125
四半期純利益	162,822

## 【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、以下のとおりであります。

当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
減価償却費	53,923千円

(株主資本等関係)

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	29,425	11,000	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成25年12月11日付の東京証券取引所マザーズへの上場の際に、平成25年12月10日を払込期日とする一般募集(ブックビルディング方式による募集)による新株発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ262,614千円増加し、資本金が412,614千円、資本準備金が394,614千円となっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当社は、パッケージソフトウェアの開発販売・保守サポートサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	57円55銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額(千円)	162,822
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	162,822
普通株式の期中平均株式数(株)	2,829,200
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	53円40銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益調整額(千円)	-
普通株式増加数(株)	219,638
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	-

(注) 1. 当社は、平成25年12月11日に東京証券取引所マザーズに上場したため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、新規上場日から当第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 当社は、平成25年9月15日付で普通株式1株につき、1,000株の株式分割を行っております。期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

平成25年11月8日及び平成25年11月22日開催の取締役会において、野村證券株式会社が行うオーバーアロットメントによる当社株式の売出し(貸株人から借入れる当社普通株式97,100株の売出し)に関連して、同社を割当先とする第三者割当による新株式の発行を決議し、平成26年1月7日に払込が完了いたしました。

この結果、資本金は489,886千円、発行済株式総数は3,287,100株となっております。

発行する株式の種類及び数：普通株式 97,100株

割当価格：1株につき 1,591.60円

払込金額：1株につき 1,317.50円

資本組入額：1株につき 795.80円

資本組入額の総額：77,272千円

割当価額の総額：154,544千円

払込期日：平成26年1月7日

割当先：野村證券株式会社

資金の用途：投融資資金として、当社の課題である優秀な人材獲得のため、及び既存製品の補完のため、既存事業のシナジー効果の高い企業買収・事業買収の資金に充当する予定であります。なお、現在検討しておりますが、内容、金額等について具体化しているものではありません。実際の充当時期までは、安全性の高い金融商品で運用していく方針であります。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

エンカレッジ・テクノロジー株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 筆野 力 印  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 平郡 真 印  
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエンカレッジ・テクノロジー株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第12期事業年度の第3四半期会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、エンカレッジ・テクノロジー株式会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。